

歯科口腔外科

1. 目的と特徴

東京女子医科大学歯科口腔外科は、昭和23年(1948)に開設され、医科大学の口腔外科では最も伝統のある教室の一つであり、本学創設の思想である「至誠の心」と「愛」を基本に医療を行っている。豊かな人間性を持ち、歯科学、口腔外科学の診断治療に関する専門的な知識と技術を習得するとともに、医学的な知識も十分に身につけ、実際の臨床において安全な歯科医療に応用できる能力をもつ歯科医師の養成を目指す。歯科口腔外科のベッド数は9床。年間外来患者数は30,000人前後、入院患者は年間480人前後であり、年間入院手術件数は全身麻酔手術約120例、外来では一般歯科治療およびインプラント手術、難抜歯、嚢胞摘出術、歯周外科処置などの局所麻酔手術を多数行っている。歯科口腔外科医として幅広い知識、技術を修得することが可能であり、後期研修施設として好適な施設である。

また、2020年4月から2つの分野に分け、それぞれの専門性を高め、高度な医療を提供している。

2. 指導スタッフ

指導者：東京女子医科大学歯科口腔外科

教授・基幹分野長	岡本 俊宏 (顎口腔外科学分野)
	古賀 陽子 (口腔顎顔面外科学分野)
講師	佐々木 亮 (顎口腔外科学分野)
講師	貝淵 信之 (顎口腔外科学分野)
講師	菅野 勇樹 (口腔顎顔面外科学分野)
助教	柴山 知紗 (顎口腔外科学分野)
	富樫 悠 (口腔顎顔面外科学分野)

3. 研修施設

基幹施設：東京女子医科大学

研修協力施設：TMGあさか医療センター、八千代医療センター、足立医療センター

4. 研修カリキュラム

- ・両分野をローテーションして下記の如く研修を行う。

I 目標

A：一般目標

豊かな人間性、幅広い見識、社会に貢献する使命感と責任を持ち、歯科口腔外科臨床を通じ社会に貢献できる医師となるため歯科口腔外科に必要な基礎知識、技術を修得する。

B：行動目標

- 1) 口腔外科診療に必要な基礎知識を修得する。
- 2) 口腔外科診療に必要な検査・処置・麻酔に習熟する。
- 3) メディカルスタッフと協力し患者の問題点を解決する。
- 4) 患者、家族の訴えを真摯に聞き、患者の苦痛に思いやりを示す。
- 5) 患者、家族に病状、治療方針を説明する。
- 6) 医療安全管理の基本を説明し、実践する。
- 7) 病態を把握し、無駄のない検査を実施する。
- 8) 治療方針について上級医、指導医と相談する。
- 9) カンファレンスに参加して、討論する。
- 10) 最新の医療情報を取得する。
- 11) 学会に参加し、発表する。発表内容を論文として投稿する。
- 12) 医療記録(診療録、手術記録、病歴要約)、診断書、報告書を遅滞なく正確に記載する。
- 13) 低難度、中難度の手術を施行する。高難度の手術の助手をする。
- 14) 口腔外科専門医の申請資格を得る。

II 方略

A：年次別研修スケジュールと研修内容概略

研修1年次 病棟と外来	術前術後管理、画像診断、外来診療
2年次 病棟と外来	術前術後管理、画像診断、外来小手術
他科ローテート	麻酔科、救命救急センター
3年次 出張	外来診療、術前術後管理、手術
4年次 病棟、外来	外来診療、術前術後管理、手術、発表
5年次 病棟、外来	病棟チーフレジデント、術前術後管理、手術、外来診療

B：研修内容

研修1、2年次は主に外来では診断、病棟では術前術後管理に重きをおいて研修する。外来診療と病棟管理を行い、歯科口腔外科診療に必要な基礎知識を修得し、臨床に応用する。ターミナルケア、疼痛対策も経験する。医療安全の原則を理解し、実践する。上級医師と相談のうえ、患者の治療方針を決定する。貴重な症例は学会、研究会に報告する。

3年次は出張病院で小外科手術、中難度手術を経験する。3年次までに症例報告を論文として投稿する。

4年次、5年次は手術手技を学び、磨くことに重きをおく。患者、家族に病状を説明し、患者、家族の問題点をメディカルスタッフとともに解決する。

4年次から研究テーマを決め、指導医のもとで研究を進め、学会発表、例会発表を経験する。また研究成果は論文としてまとめ投稿する。

5年次は病棟のチーフレジデントとして、病棟のマネジメントを経験する。

全学年を通して希望者は大学院への入学も可能である。

C：週間予定

手術日：水・木曜日

症例検討会：毎週木曜日 午後5：00から

教授回診：毎週金曜日 午後1：00から

診療班カンファレンス：毎週1回

研究班カンファレンス：月2回

医局会：第1木曜日 午後5：30

抄読会・勉強会：木曜日 症例検討会後

D：指導体制

歯科口腔外科では、外来、病棟の診療を行っている。周術期口腔管理にも力を入れている。教授の指導、監督、責任のもとで、研修計画に従い、それぞれの専門スタッフ、上級後期研修医の指導を受ける。

他科ローテーションでは、当該教授・基幹分野長の指導、監督、責任のもとで、研修を受ける。

研修協力病院においては、歯科口腔外科部長の指導、監督、責任のもとで各病院の指導医から直接指導を受ける。

III 評価

指導スタッフ、あるいはメディカルスタッフから逐次形成的評価を受ける。基本的手技・手術などに関しては、評価シートを提出し、症例数の調整、内容のフィードバックを受ける。評価内容は随時教授に報告され、年次の変わり目には教授が点検、面接を行い、評価内容が評価シートにてフィードバックされる。

カンファレンスなどの発表内容、発表態度がスタッフから評価される。

5. 後期臨床研修修了後の進路

後期臨床研修修了後、東京女子医科大学歯科口腔外科に就職を希望するものは、教授と相

談し、助手もしくは助教として採用も可能。

6. 学位

研究論文が掲載された後、教授との協議のもと、博士(医学)の学位の申請が可能である。臨床大学院生は博士課程の修了時に博士(医学)の学位が授与される。

7. 専門医・認定医

日本口腔外科学会専門医以外に、日本有病者歯科医療学会専門医、日本顎関節学会専門医、日本口腔インプラント学会専門医、日本顎顔面インプラント学会専門医、日本口腔科学会認定医、日本口腔腫瘍学会専門医、日本再生医療学会認定医、日本口蓋裂学会認定医（口腔外科分野）などの取得が可能である。

8. 問い合わせ先

〒162-8666 東京都新宿区河田町8-1
東京女子医科大学歯科口腔外科
医局長 貝淵 信之
TEL : 03-3353-8112 (内線 : 37311)
FAX : 03-5269-7618
E-mail : kouge.bn@twmu.ac.jp